

安保破棄ニュース

No. 552
2023. 4. 18

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三-三八三三
FAX 〇六一六七六三-三八三六
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>



辺野古新基地建設の断念を求める署名を訴えます！

2013年1月28日、沖縄県内41市町村全ての首長、全ての議会議長、文字通り全ての沖縄県民の立場を網羅した101名が署名・捺印し、政治的立場を超えて普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設反対、オスプレイの配備撤回を求めた「建白書」を安倍首相に手交しました。

ところが、ただ一人「建白書」に署名・捺印しなかった仲井眞知事が、自らの公約を破って公有水面の埋め立てを承認したため、辺野古での米軍新基地建設は始められました。

これに対して沖縄県民は、2014年には「ひやみかちうまんちゆの会」が母体となって基地建設反対を真正面に掲げた翁長県政を誕生させ、選挙後、「建白書」実現の一点で結集する「オール沖縄会議」を結成。

2019年2月に実施された「県民投票」でも、圧倒的な基地建設反対の「民意」を示し、2018年に翁長知事の遺志を引き継いで誕生した玉城知事を昨年見事に再選しました。にもかかわらず政府は、大浦湾の海底に広がる軟弱地盤の存在などにより、事実上、完全に行き詰っているにもかかわらず、県民の基地建設反対の「民意」を挫こうと、見せかけの工事を強行し続けていますが、沖縄の人々は決して諦めることなく、「建白書」の実現をめざして闘い続けています。

伝え、広げよう

カジノ反対・平和の大阪

そして今、オール沖縄会議が呼びかける「辺野古新基地建設の断念を求める請願書」署名が取り組まれています。

一方、岸田政権によって「敵基地攻撃能力」保有を柱とする「安保関連3文書」の具体化が進められようとしており、米中対立の中で、日本が米国追従の大軍拡を進め、もしも「台湾有事」となれば、安保法制の下、集団的自衛権と称して自衛隊が戦争に参加し、沖縄をはじめ日本中が戦場となる危険が高まっています。

与那国島・宮古島に続き、3月16日には石垣島に地对艦・地对空ミサイル部隊、警備隊の駐屯地が開設され、中国を意識した軍事要塞化が進められており、すでに、そうした事態を想定した日米合同演習が全国規模で行なわれています。

こうした中で、辺野古新基地を許さない闘いは、沖縄をはじめ日本を戦場にさせない闘いの最前線の取り組みです。

沖縄の皆さんと共に、「建白書」を実現し、日本を再び「戦争する国」にさせないために、署名への協力を訴えます。

大阪の締め切りは、5月12日(金)です。よろしく願います。

統一地方選挙の前半戦が4月9日投票で行われました。

大阪においては、府知事・大阪市長ともに大阪維新の会の候補が当選し、府会議員選挙・大阪市会議員選挙においても過半数の議席を許してしまいました。

ここだけを見ていると元気が出ませんが、私たちが推していた個々の候補者の得票数や率を聞くと、決して失望するような中身ではないことが分かります。

カジノにしても、予想していた通り国が認可しましたが、これで終わったわけではありません。ギャンブル依存症の問題、788億円の公金支出や安すぎる賃料疑惑の問題など、選挙戦の中でかなりの府民に伝えることができました。

ところが、出口調査の報道を見ると、IRに反対の人でもその多くが維新の会の候補者に投票しているということです。後半戦での飛躍をめざして、カジノでも平和の問題でも「真実」を伝え、維新の化けの皮を剥がすためにがんばりましょう。

地方自治体としての責務を果たせ

3月17日（金）、安保破棄大阪実行委員会は平和委員会・原水協・非核の会と共に、2月20日～23日に米軍艦が大坂港に入港した件について、大阪港湾局との協議を行いました。

この協議は、私たちが米強襲揚陸艦アメリカが商業港である大阪港のJ岸壁（食品ふ頭）に入港したことへの抗議行動を現地で行った際、大阪市長と大阪府知事宛に「米強襲揚陸艦アメリカの大坂港入港を許可しないことを求める要請書」を提出した折に申し入れていたものであり、安保破棄大阪実行委員会からは植田代表幹事と守山事務局長が参加しました。

4団体は、大阪港湾局からの回答について検討し、協議に臨むために事前の打ち合わせを行い、協議では、大阪港への入港許可、港湾法との関連、核兵器の搭載、あるいは当日の米艦の実態などについてのほか、今回の入港に際しての周辺・市民への周知についても確認し、日米地位協定との関わりや「安保3文書」との関わりについての認識、そして担当者としての考えについても質しました。

しかし残念ながら、どの質問への回答からも市民の安全・安心を保障するという、自治体としての責任ある姿勢は感じられませんでした。

核兵器の搭載については、相変わらず外務省が「核兵器の搭載はないと判断している」と回答しているからと言うだけで、日米安保条約・日米地位協定に基づくカベを是とする内容であり、この間の日本国内外での情勢の変化に対応しようとするものではありませんでした。

今回の協議からも分かるように、ますます「戦争する国」づくり

諸団体の取り組み、当面の予定など

4月

- 19日(水) 安保破棄大阪実行委員会常任幹事会 10:00～
- 23日(日) 統一地方選挙後半戦投票日
- 29日(土・祝) 大阪母親大会プレ企画「口笛と講演のつどい」

5月

- 1日(月) 第94回大阪メーデー 9:00～扇町公園
- 3日(水・祝) 輝け憲法！平和といのちと人権を！
おおさか総がかり 5.3 憲法集会
14:00～ 扇町公園
- 13日(土) 安保破棄大阪実行委員会「総会」
14:00～17:00 大阪民医連・会議室
- 23日(金) 大阪安保23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
- 24日(水) 近畿安保合同会議 14:00～
- 27日(土) 大阪憲法会議・共同センター「春の憲法大学習会」
天王寺区民センター

安保破棄大阪実行委員会「2023年総会」

のお知らせ

新「安保3文書」の閣議決定により、日本を「戦争国家」にしようとする動きが激しくなっています。それを阻止する運動も活発になってきていますが、まだまだ大きく広げていかなければいけません。

安保破棄大阪実行委員会の2023年総会を下記の日程で行いますので、是非各団体、個人幹事の方々の多数のご出席をお願いいたします。

記

○日時:2023年5月13日(土)14:00～17:00

○場所:大阪民医連会議室

☆前半に、平和をめぐる情勢についての学習会を行います。講師は、小泉親司さん(安保破棄中央実行委員会常任幹事)です。

23 宣伝行動

3月の安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を3月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算413回目の23行動となります。ビラ配布「大軍拡と増税に反対する」請願署名協力呼びかけ、横断幕、プラスターなどをもってのスタンディング宣伝、弁士による訴えを16人の参加で行いました。弁士は、うたごえ協議会、平和遺族会、非核の政府を求める大阪の会から出させていただきました。「遺骨の混じる土を埋め立てに使うな」「平和を発信する大阪にしよう」など、道行く人たちに訴えかけました。

うたごえ協議会の方々の歌も交えて、元気の出る宣伝行動となりました。

4月の宣伝行動は、統一地方選挙の真っ只中ですので中止としました。次回の宣伝行動は、5月23日(火)の12時から、淀屋橋で行う予定です。



を進めようとする、対米従属の政治を変えるため、日米地位協定の抜本改定を求める運動などを大阪でも高めていくことが求められます。共にごがんばりしましょう。